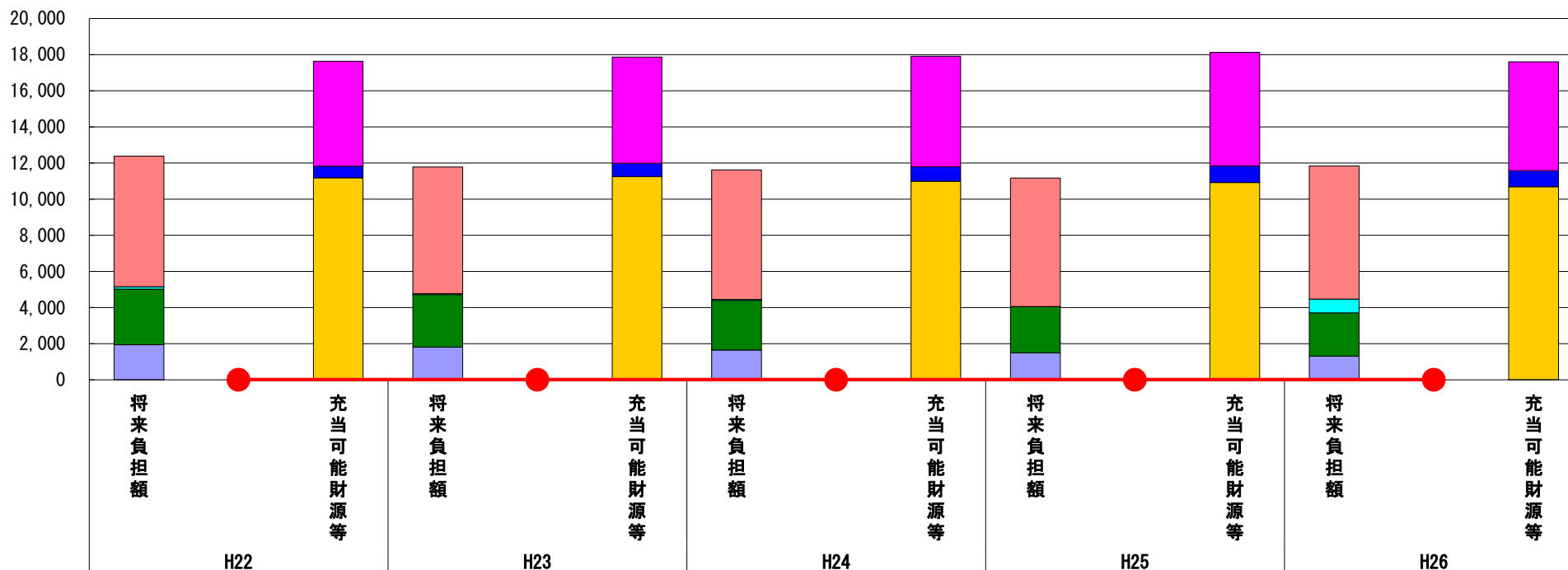


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

兵庫県猪名川町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		7,219	6,994	7,171	7,095	7,363
	債務負担行為に基づく支出予定額		134	57	49	22	765
	公営企業債等繰入見込額		3,078	2,909	2,745	2,552	2,382
	組合等負担等見込額		1,945	1,811	1,649	1,485	1,318
	退職手当負担見込額		-	-	-	-	-
	設立法人等の負債額等負担見込額		3	2	7	6	5
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		5,811	5,882	6,105	6,297	6,024
	充当可能特定歳入		642	728	810	924	891
	基準財政需要額算入見込額		11,179	11,250	10,987	10,913	10,690
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 5,253	▲ 6,089	▲ 6,281	▲ 6,975	▲ 5,772

分析欄

将来負担比率については、地方債残高や水道事業会計、下水道事業会計の公営企業会計への繰出見込額、国崎クリーンセンターや丹波少年自然の家施設事務組合の一部事務組合への負担見込額118億3,366万7千円に比べ、将来の負担に備えた基金残高や将来交付される交付税へ算入される見込額などが176億588万円と将来負担額を57億円程度上回っているため、将来負担比率は△104.0%と引き続き健全な状態を維持していますが、前年度の△124.0%と比較すると20ポイント悪化しました。

これは、新たに学校給食センター整備事業費に係る債務負担行為を6億5,535万7千円計上したこと、また、当該事業に充てるためなどでまちづくり基金を4億4,859万7千円取り崩したことなどで、将来負担額合計が前年度より6億7,342万9千円増加、充当可能財源が5億2,903万9千円減少したことが主な要因です。

今後、過去に建設した大型公共施設の改修など経費の増加が見込まれるため、各財政指標を注視し、財政の健全な運営に努めます。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。